

令和5年度 生涯学習リレー講座開催のお知らせ

令和5年度生涯学習リレー講座
(えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座)

SDGs

全ての人の健康と福祉を

会場/江別市民会館 3階 37号室 (江別市高砂町6番地)

講座1	令和5年11月10日(金) 18:30~20:30 (先着70名/受講料無料)	「SDGs 概論」 講師:北海道大学サステイナビリティ推進機構 教授 加藤 悟 氏
講座2	令和5年11月17日(金) 18:30~20:30 (先着70名/受講料無料)	「健康寿命を延ばすための食とは」 講師:北海道大学病院栄養管理部 副部長 熊谷 聡美 氏
講座3	令和5年11月24日(金) 18:30~20:30 (先着70名/受講料無料)	「地域の健康づくり-フレイル予防と健康体操」 講師:北海道大学大学院保健科学研究院 准教授 寒川 美奈 氏

■申込受付:10月2日(月)から各講座3日前まで
■申込方法:電話、Eメール、FAX、申込書郵送により受付いたします。FAX、郵送の場合はチラシ裏面の「参加申込書」をご利用ください。電話、Eメールの場合は、お名前、ご住所、電話番号、受講希望講座をお知らせください。

◇申し込み・問い合わせ先/江別市生涯学習推進協議会事務局(教育委員会生涯学習課生涯学習係内)
〒067-0074 江別市高砂町24番地の6
TEL 011-381-1062 / FAX 011-382-3434
E-mail shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

江別市生涯学習推進協議会ホームページ <https://shougai.ebetsu.org/生涯学習推進協議会/>

<主催> 江別市生涯学習推進協議会

「ら・ら・らフェスティバル」を終えて

「ら・ら・らフェスティバル」が
新型コロナウイルスによる制限なしで開催できました

事業委員長 原子 理香

近年のコロナ禍で、急遽中止や時間短縮での開催となっていた「ら・ら・らフェスティバル」は今年度令和元年度に準じ午前11時〜15時の開催となりました。天候にも恵まれ、残暑の中たくさんの方に来場いただきました。オープニングは、江別まっことええ&北海道情報大学のYOSAKOI演舞でした。ステージ発表では、5つの団体に参加していただき、大変盛り上がりしました。ホールやギャラリーでは体験ブースやPRブースがあり、今年度は飲食販売コーナーと飲食スパー

スを設け、和室1・2号や児童室では、親子や子ども達でも楽しめるプログラムを用意して、多くのご家族が参加していました。調理実習室では「ザザ作り体験、駐車場を使つてのピザ窯焼き体験もありました。とても暑い中でしたが、本当にたくさんの方に体験していただきました。ありがとうございました。エンディングは、江別市立江別第三中学校マンドリン部によるマンドリン合奏でした。久しぶりに素晴らしい音色を聞くことが出来ました。

最後の全体合唱「風はみどり」では、ハプニングがあり、急遽マンドリン部の顧問の先生による「ピアノ伴奏での合唱となりました。突然のハプニングにもかかわらず、参加者の皆さんも楽しく合唱が出来たと思います。顧問の先生におかれましては、急な状況下で即興でピアノ伴奏をしていただいた事に感謝いたします。「ら・ら・らフェスティバル」を通して、今後も皆様には是非多くの体験をする事や色々な活動を知ったり、興味を持っていただきたいと思います。



ステージ発表

「久しぶりのステージからの体験」

3B体操江別サークル佐藤ひとみ 昨年のフェスティバルの片付けの時、旧知の参加団体の方から、「3B体操はステージでやった方がいいよ」と声をかけていただき、以前の様に会場にいる皆さんに体験していただくスタイルにしました。3種類ある用具のうち2つを使って、遊びの要素をたっぷり取り入れた、筋トレや体ほぐしとなる運動を体験していただきました。コーナーで来てくれる人をお待ちしていたり呼びかけたりしていた時

「四年ぶりのフルタイム開催！」

このころ亭 村本 深雪 思えば長かったコロナ禍。やっとフルタイムでの開催でした。さて私たちがつくるころ亭も、ステージ発表は、昨年に続き今回二度目。今年の題は「えべつ観光」だけ見とけばまちがいない。巻



「ら・ら・らフェスティバル」の開催にあたり、事務局をはじめ参加団体の皆さん、事業委員会の皆さん、多くの方々にご尽力いただきました。感謝申し上げます。

ただいたのです！コロナ禍では全く無かった事だったので、久しぶりに感動いたしました。沢山の人が接して活動を知ってもらえるフェスティバル。来年も、再来年も、もっと沢山の団体さんや、市民の来場で、ますます盛況で行われることを願ってやみません。

「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

江別認知症の人を支える会
会長 三橋 満和子



「江別認知症の人の家族を支える会」が、昨年度から力を入れているのが、認知症になっても地域で安心して暮らせる社会です。そのためには、大人だけでなく子どもたちにも認知症を理解してもらおう活動を進めていく事と思ひます。「あら、なにか変？」を気づいてもらい地域で支える体制作りの一助になればと思ひます。今回支える会のブースに折り紙コーナーを設けてみました。何人かの子どもたちが興味を示し、両親と共に折り紙を折ってくれたことは立ち寄りキック作りになり、良かったと思ひます。ステージでは自作DVD「認知症つなげな」を上映、啓発活動に繋がりたいと思ひます。フェスティバルは会員同士の活動発表の場でもありますので、江別カルタを体験いたしました。取った札の

「地域の方々に支えられて」

マンドリン部顧問 窪田 恵梨



説明があり、江別の歴史がわかり参加者同士話が盛り上がりとても楽しかったです。有意義な一日でした。江別第三中学校マンドリン部は、1961年に活動を始め、創部62年目を迎えました。石狩管内では中学校で唯一のマンドリン部ですが、62年前からマンドリンの優しい音色に魅了された仲間が集まって奏でた伝統を、今いるメンバーで大切に引き継いで演奏しております。コロナが5類に引き下げられたことにより、自粛していた地域の演奏活動が盛んに行われるようになり、今回、ら・ら・らフェスティバルにも参加させていただきました。マンドリンは大人になってからも始められる楽器で、江別市にはマンドリンアンサンブル団体も加っています。多くの皆さんが、私たち同様、仲間と音楽を奏でる喜びを味わっていただくと嬉しいです。

体験ブース

「江別の食材を 知って味わおう」

えべつ江北まちづくり会
三角 晴美

数年ぶりにお昼にかけて開催された「ら・ら・らフェスティバル」で、「コロナ前から体験していただいていた」ピザ作りをやらせていただきました。

今回は「ピザ窯での焼く体験だけでなく、ピザを作るところから関わらせてもらいましたが、「コロナ感染を気にされている方がまだまだ多いのか、来場者が少なく体験者も少なかったのが残念でした。」

それでも参加者の皆さんは生地をのびトッピングする時、楽しそうにされていたのは教える側としてうれしい事です。

「ピザ生地は江別産ハルユタカ、江別産トマトでトマトソース、江別のレンガで組み立てたピザ窯と、私たちの暮らす江別には豊か



な農畜産物や物がたくさんあります。今回の様なフェスティバルでより多くの方に知っていただき興味を持ってもらいたいと考えた体験会でした。

話題が膨らむ

「江別カルタ」

成田 裕之

NPO法人えべつ協働ねつとわーく 児童室の会場にご来場いただいたのは、2組8名でした。江別創造舎が3年掛けてつくりあげた、遺跡や歴史的な出来事に関することが中心にまとめられています。

大人同士であれば、キー・〇六の飛行機を作っていたとか、江別大火は恐ろしかったとか、体験した話や地名にまつわる自分自身の体験の話に繋がりますし、親子で遊べば、生活の授業で見学に行つた話や家族で訪れた時の思い出、原始林で出た熊のニュースまで話題が尽きることがなく、読み手を担当して、改めて優れた「ミニユニケーションツール」になっているなと感じました。

読み札の裏には、その札に書かれているものの詳細な解説が古典文書などととも記されており、それを読むことでまた理解が深まる仕掛けになっています。市民活動団体出版前講座で貸し出しや講話が出来ますので、ぜひお気軽にお申込みください。



昔遊びを体験

江別市家庭問題研究会

黒河内 葉子

今年も、野幌公民館和室1号にて「親子や子ども昔遊び」をテーマに「ら・ら・らフェスティバル」に参加しました。

来場していただいた皆さんに切り絵、魚釣り、工作、折り紙、缶バッチ作り、ヘアゴム作りを体験していただきました。

参加者の皆さんは、楽しく作品作りに取り組んでいただけだと思います。

完成した作品を大事にカバンに入れていただいたり、早速身につけていただいたりしていただき、とても嬉しい気持ちになりました。

また、子育ての話などの交流の場を設けることで、いろいろなお話をすることができました。短い時間でしたが、皆様と和やかな時間を過ごせたと思います。

この機会に多くの皆様に家庭問題研究会の活動を知っていただきたいと考え、今回もホールでのPRブースに活動内容を掲載したパンフレットを設置しました。

資料を手にとっていただけの方もいらっしゃいました。機会がありましたら、是非当会を活用していただきたいと思います。

今後「ら・ら・らフェスティバル」に参加し、皆様とふれあう貴重な機会として活用していきたいと考えております。



「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

おはなしなあに 辺見 敦子

今回は、とても良い光景を見ました。「おはなしなあに」で開いていた和室での絵本の時間の事です。お父さんの膝に腰かけて、温かい体温を背中を感じながら、お父さんの声を聴いている女の子の姿でした。いつもご家庭で、絵本の楽しさを身をもって与えているお父さんの姿に感激しました。

今回も、たくさんさんの絵本を用意しましたが、お子さんの姿より、大人の方々が多かったように思いました。

コロナ禍の後、おはなし会に来てくれる人が多くなく、事前に準備をしても来ない時もあり、残念です。「ら・ら・らフェスティバル」では、見に来てくれる方がいてよかったです。おはなしなあにには40周年を迎えました。その歴史と途絶えることのない暖かい声をおはなし会で、味わってほしいと思っています。



「ら・ら・らフェスティバル」に参加して

江別生涯学習インストラクターの会

中野 郁子

この度は見ることも、参加することも初めての体験でした。江別

これからのイベント

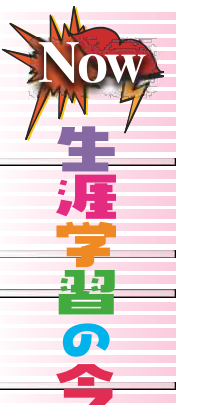
◆江別子ども劇場
(連絡先/井谷:011-383-9661)
○第44回江別子ども文化祭
日程/令和5年11月19日(日)
場所/えぼあホール
内容/子どもの文化活動の発表の場として、市内7団体が出演します。

◆NPO法人えべつ協働ねつとわーく
(連絡先/成田:011-374-1460)
○江別まち検定
日時/令和5年11月26日(日)
初級10:30~11:30
上級13:00~14:00
場所/市民交流施設ぶらっと
検定料/各1,000円
定員/各40名
内容/江別の歴史・自然・産業・生活文化など、検定を通して江別の魅力を知っていただき、江別をもっと好きになっていただける事を目的に実施します。

◆江別消費者協会
(連絡先/松下:011-381-1026)
○第50回江別消費者大会
日時/令和5年12月21日(木)10:00~
場所/野幌公民館 研修室3号・4号
内容/「みんなで学ぼうデジタル社会～気を付けよう、ネットの落とし穴～」をテーマとし、講師を招いて講演を行います。
講師/(一社)北海道消費者協会 道高 真理 さん



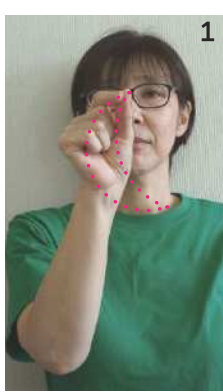
生涯学習インストラクターの会では、筆ペン、筆アートの体験コーナーを行いました。来客数が少なく残念でした。
WEBなどでの案内告知が遅く、また内容も細かくあると周知しやすかったのでは、と感じました。舞台と体験が同会場ですと、どちらも不利が生じてしまいます。とてもよいフェスだと思えますので、続いていくことを願っています。



このコーナーでは、QRコードを通してよりリアルタイムな生涯学習情報をお伝えします。
今回は、当協議会の会員である「NPO法人えべつ協働ねつとわーく」が実施する「江別まち検定」のホームページをご紹介します。過去問も掲載していますので、ぜひ挑戦してみてください。今年度の「江別まち検定」は11月26日に実施されます。

「月曜日」

手話をまなぼう



右手の親指と人差し指で三日月形を描く

「QRコード」をスマートフォン・タブレット等のQRコードリーダーで読み取っていただき、手話の動画をご覧になれます。今回は「曜日」を表す手話です。



生涯学習推進協議会のホームページでは、過去の各種事業の様子や、これからのイベントのスケジュールが見られます。QRコードからご覧ください。



《編集後記》
今号は、9月に開催した「ら・ら・らフェスティバル」の様子をご紹介します。

「ら・ら・らフェスティバル」では、教育、芸術・文化、福祉や市民活動など様々な分野で活動している会員の日頃の活動成果をステージ発表や体験発表、各団体のPRブースを通して発表し、市民の皆様とも体験コーナーなどで交流しました。

情報誌「ら・ら」では、毎号様々な生涯学習情報を発信しています。皆様の学びの出会いに是非ご活用下さい。

川口 圭太

まなぼう

江別子ども劇場 井谷 照子

「生の舞台鑑賞と体験活動で、心豊かな子育てを。」
江別子ども劇場は、すぐれた児童文化に接しながら、子どもたちの友情と自主性、創造性を育み、真実を愛する豊かな人間性を培うことを目的に1977年に誕生しました。
心を育てる「生の舞台鑑賞」と子どもも親もいきいきと活動する「自主活動」を二本の柱に、江別でたくさん親子が活動をしています。
会員募集中です!

Vol.19